

エコ・オープンフィールド構想

～地域主導型環境ビジネスが生まれる仕組みづくり～



グループ名：エココミ

メンバー：佐藤一彦 高村武志 土肥武 市川愛紗

チューター：石神勝博 後藤尚弘

現状の把握

環境ビジネスは成長産業であり、愛知県の産業と密接に関わっており、重要性が高いが・・・

【課題】

- ◆ 開業率の向上
- ◆ 環境ビジネスの支援強化
- ◆ 自治体の地域経済の活性化

2030年に向けての提言の概要

エコ・オープンフィールド構想

自治体経済の活性化につながる政策として、シリコンバレーをモデルとした地域主導で環境ビジネスが生まれる仕組みづくりを行う「エコ・オープンフィールド構想」を提言します。

提案の内容

1. 大学、研究所の集積した地域の選定
2. 大学発ベンチャーキャピタルの創設
3. 地域主導が生まれる連携体制の構築

【愛知県の役割】

- ◆ 地域主導が生まれる連携体制を構築するコーディネート組織の創設支援
- ◆ 環境ビジネスに必要なマーケティングデータの蓄積と提供
- ◆ 地域で生まれた環境技術や装置、サービスのブランド認定制度の策定

提案実現のための具体的な取り組み (アクションプラン) と実現可能性

1. 尾張北部地域への選定



2. 中部大学ベンチャーキャピタルの設立

3. コミュニティーをつなぐ協議会の創設

波及効果

- 環境ビジネスによる持続可能な社会
- 地域経済の活性化による雇用拡大
- 自治体の財政難克服による市民サービスの向上
- 環境首都あいちの実現

